

令和7(2025)年度「総合的な探究の時間」計画

本校の校訓

向学 礼儀 勤労

【本校の概要】

本校の教育目標

健康で個性豊かな人格を養い、よりよい社会を作る人材を育成する。

実践目標

- ・ 社会に出て通用する基本的な学力と体力を養う（向学）
- ・ 恵まれた自然環境や地域との交流を通し、豊かな情操と福祉の心を養う（礼儀）
- ・ 地域と連携したキャリア教育のもと、勤労を尊重する態度を養う（勤労）

本校の特徴

- ・ 2018年度より、「単位制」を導入するとともに、「コミュニティスクール」となっている。
- ・ 淡水を専門に学ぶ水産科は全国的唯一で、全国から生徒募集を行っている。

【総合的な探究の時間計画】

目 標

画一的な受動的な調べ学習から一歩抜けだし、生徒が自分の力で課題を設定し、調べ、考察し、まとめて発表に至ることで、「問題解決の力」を育むことを目標とする。

ねらい

総合的な探究の活動を「未来予想図計画」と題し、2016年より総学の時間に実施して成果を上げている「那珂川学」と関連させることで、自分の進路や、那珂川町の未来を考えるための考察とする。また、自分たちの生活する町に何らかの形で寄与する体験を通して、自己有用感や自尊心を高め、働く目的、ひいては生きる目的を見だし、向学心の喚起につなげたい。

学校概要

本校は、栃木県で最も東部に位置し、三方を森林に囲まれた谷間の町、那珂川町馬頭にある県立高である。町には那珂川の支流武茂川が中央を流れる。武茂川の支流では多種多様な魚が生息し、本校が全国唯一の内水面専門の水産科を有するきっかけとなった。部活動でも、アーチェリー部・レスリング部は、全国大会の常連校である。卒業生の7割は就職であるが、その多くが地元と近隣市町へ就職するなど、地元と密着した進路指導に定評がある。

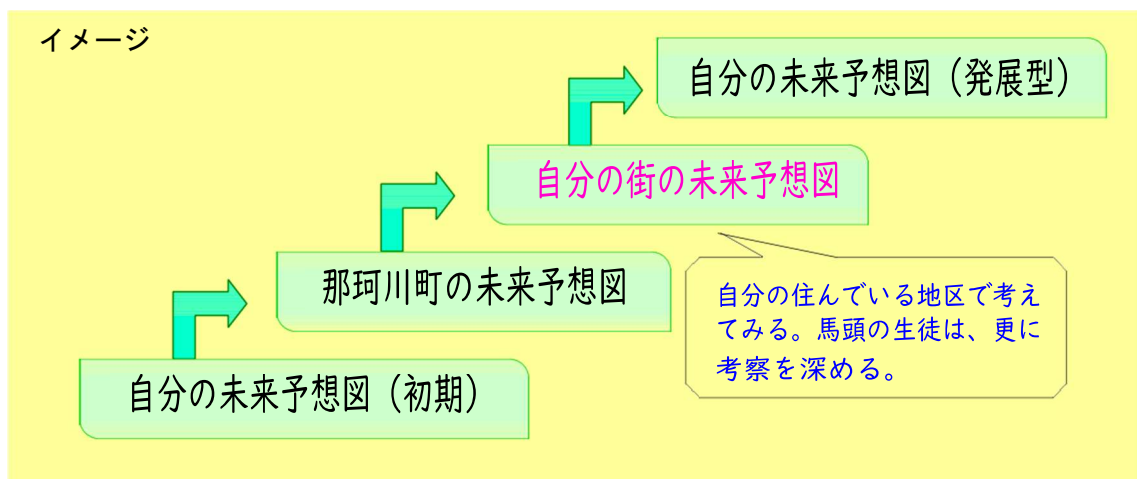
生徒概要

全国唯一の淡水専門の水産科は、全国募集をしており、その為、向学心の高い生徒が集まっている。田舎故の純朴で素直な生徒が多いためか、積極的に何かに挑戦していく、行動を起こすというタイプの生徒は少ない。また、中学校までの人間関係が強く、新しい関係の構築を求める生徒が少なく、小さな集団が多く見られる。学習面においては、活字離れが見られ、思考力・想像力の欠如が伺える。男女ともに粗野な生徒もいるが、おとなしいながら、こつこつと作業に取り組める生徒が多い。

ねらい設定の理由

本校では平成28年度より1・2学年を対象に、地域を学ぶ「那珂川学」を実施している。主に総合的な学習の時間を使い、那珂川町の歴史、文化を中心に学んできた。生徒が町内各地を訪問し、専門者からの説明や見学、時には体験も行っている。

2024年度で9年目を迎える那珂川学を引き続き実施していく中で、生徒ひとりひとりが自分の将来を考えながら、那珂川町の発展振興とも結びつく那珂川学に進化させたい。自分自身をみつめ疑問・仮説・考察・発見…といった試行錯誤を繰り返し、那珂川町を土台に、商業や経済、町民と自治のありかた等、生徒自身の将来と直結する考察であり、職業観の育成も目指したい。大半の生徒が卒業後就職していく本校にとっては、適した考察となることが期待できる。



計画 別計画

流れ

1. 課題発見
2. 仮説設定
3. 検証計画の立案
4. 観察・実験
5. データ結果の処理
6. データ結果をもとに分析・考察
7. 結果の表現（発表）
8. 探究活動の振り返り

評価

1. 自分と向き合い、自分の将来について真摯に考察できたか。（関心 意欲 態度）
2. 那珂川町の特徴を積極的に学び、自分の将来に結びつけて疑問を見いだすことができたか。（思考 判断）
3. 自分の設定した課題解決の為に積極的な調べ学習を行うことができたか。（意欲 態度）
4. 考察の結果をまとめ、発表することができたか。（判断 表現）
5. 得られたデータや情報を適切に整理し、処理することができたか。（知識 理解）

【探究の時間の注意点】 ～生徒～

※授業の目標として、最初に示す

- ①物事を常に前向きに考えること
⇒否定的・後ろ向きでは何も解決しない
- ②「なぜなんだろう」を合言葉にすること
⇒それが「探究」の基本
- ③自分の力で解決策を見出すこと
⇒自分にも出来るを実感する決め手
- ④常に頭の中に疑問詞を。

【計画の中での注意点】 ～指導者側～

- ①単発の時間にしない
(3カ年計画を理解し、計画内で動く)
- ②必ず、「前の時間を受けて」の授業にする。
- ③那珂川学と関連付ける。
- ④各教科内の授業でも「探究」を意識する。
- ⑤発表時や評価時の為の記録を残す。
＝ポートフォリオ型が理想
- ⑥一つの課題を解決することで、次の疑問（課題）を自力で見いださせる事を意識

■ I 学年目標

自己を見つめ、隠れているかもしれない自分を発見する。
自分を知る。自分への問いかけを通して、新たな自己発見ができるとよい。それは、自分の卒業後の進路に直結することであるかもしれないのだから。
また、「自分」の存在について、他者との関わりの中で理解を深めたい。

■ 年間計画

◆ 自分未来学

Stage1

自分自身を振り返る

(じぶん未来学プログラムより p13) 自分の将来を考える

(じぶん未来学プログラムより p14 ~) 自分の将来のために、今からすべきこと

(じぶん未来学プログラムより p19 ~)

Stage 2

那珂川町を知る。

＝那珂川町の工業・商業・農業

那珂川町を知り、那珂川町の課題を探る。

Stage3

那珂川町を知り、那珂川町の課題に取り組む。

◆ 那珂川学

I 学年計画による

例) 高校存続と町への影響研究

県ゴミ処理場見学

ごみの研究

町内各所清掃・除草作業

■ 学習内容

◆ 調べ学習

- 先生や家の人に聞いてみる。
- 図書館で調べてみる。
- HPで調べてみる。

◆ フィールドワーク

- 現場に問い合わせる。
- 現場に行ってみる。
- 関係者に会って、話を聞いてみる。
- 活動に参加してみる。

■ 発表

- 1学期に先輩の発表を見る(水産科の発表会等)
- 2学期前半
- 2学期 古館祭校内発表
- 3学期 「総合的探究の時間」成果発表会
(地域連携活動発表会)

■ 評価

1. 自分と向き合い、自分の将来について真摯に考察できたか。
2. 那珂川町の特徴を積極的に学び、自分の将来に結びつけて疑問を見いだすことができたか。
3. 自分の設定した課題解決の為に積極的な調べ学習を行うことができたか。
4. 考察の結果をまとめ、発表することができたか。
5. 得られたデータや情報を適切に整理し、処理することができたか。

■ 2 学年目標

1 年次に探究したことを元に課題設定とその解決についてグループで行うことで協議力を高める。また、他社の意見を聞いたり、取り入れたりすることで、物事を多方向から学ぶことやひいては自己修正力をつける。

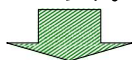
次年度に迫った進路決定のために、那珂川学を通して職業意識を高める。

■ 年間計画

◆ 自分未来学

Stage1

自分のなりたい職業はなんだろう。
自分にあった職業はなんだろう。



Stage 2

那珂川町で子育てをしてみよう。

⇒那珂川町の経済の動きを知る。
那珂川町の特産品を知る。
⇒那珂川町を P R する。

那珂川町を知り、那珂川町の課題を探る。



Stage3

那珂川町を知り、那珂川町の課題に取り組む

◆ 那珂川学

2 学年計画による

例) 町内事業所・N P O 等研究
研究成果のデジタル公開

■ 学習内容

◆ 調べ学習

- 先生や家の人に聞いてみる。
- 図書館で調べてみる。
- H P で調べてみる。

◆ フィールドワーク

※いわゆる今までの那珂川学に近い

- 現場に問い合わせしてみる。
- 現場に行ってみる。
- 関係者に会って、話を聞いてみる。
- 活動に参加してみる。
- 那珂川町の人にアンケートやインタビューをしてみる。

■ 発 表

- 修学旅行事前学習
- 2 学期後半（インターンシップ報告会）
- 3 学期 「総合的な探究の時間」 成果発表会
（地域連携活動発表会）

■ 評 価

1. 次年度に迫った進路決定に関連づけて真摯に考察できたか。
2. 那珂川町の特徴を積極的に学び、自分の将来に結びつけて疑問を見いだすことができたか。
3. 自分達の設定した課題解決の為に他人の意見も取り入れながら積極的な調べ学習を行うことができたか。
4. 考察の結果をまとめ、発表することができたか。
5. 得られたデータや情報を適切に整理し、処理することができたか。

■ 学年別計画

3 学年

■ 3 学年目標

決定した自分の進路と関連づけた、考察を深める。

那珂川町の課題だけでなく、自分の住む街についてあるいは自分の進路先について理解を深める。

■ 年間計画

○自分の住む街について、理解を深める。

○決定した就職先について詳しく調べる。

○就職先と関連する企業について調べる。

■ 学習内容

◆ 調べ学習

○就職先に問い合わせる。

○HPで調べてみる。

◆ フィールドワーク

○実際に就職先に行って聞いてみる。

■ 発 表

○卒業発表会

■ 評 価

1. 決定した進路について、真摯に考察できたか。
2. 那珂川町の特徴を積極的に学び、自分の将来に結びつけて疑問を見いだすことができたか。
3. 課題解決の為に積極的な調べ学習を行い、建設的な考察ができたか。
4. 考察の結果をまとめ、発表することができたか。
5. 得られたデータや情報を適切に整理し、処理することができたか。

1 学年

■ テーマ

- 自分の興味は何か、自分自身を知ろう。
- 自分になりたい職業はなんだろう。
(自分にあった職業はなんだろう)
- 世の中にはどんな職業があるのだろう。
- 那珂川町にはどんな職業があるのだろう。

■ 那珂川学とのリンク

■ 調べ学習

- 先生や家の人に聞いてみる。
- 図書館で調べてみる。
- HPで調べてみる。

■ フィールドワーク

※いわゆる今までの那珂川学に近い

- 現場に問い合わせしてみる。
- 現場に行ってみる。
- 関係者に会って、話を聞いてみる。
- 活動に参加してみる。

■ 発表

- 1 学期に先輩の発表を見る(水産科の発表会等)
- 2 学期前半
- 2 学期 古館祭校内発表
- 3 学期 地域連携活動発表会

自己分析
～自分発見へ

那珂川町を知る
ことで職業意識
を高めるきっか
け作りをする。

従来の那珂川学と
リンクさせて良
いだろう。

最低 3 回の発
表機会を持つ
ことが可能。

単純な「キャリア教育」で
終わらないためにはどう
したらよいか。1 学年は今
までを踏襲する形にして、
那珂川学を活動と考察に
リンクさせたい。

しかし、
「自己を見つめる」と言
うことを中心に持ってきた
い！

2 学年

■ テーマ

- 自分の興味は何か、自分自身を知ろう。
- 自分になりたい職業はなんだろう。
(自分にあった職業はなんだろう)
- 那珂川町で子育てをしてみよう？ 大仮説
出産 保育 病院 就学 塾 習い事 進学 趣味生
活 出会い 結婚 老後 etc
- 自分にあった職業はなんだろう。(進化型)

■ 調べ学習

- 先生や家の人に聞いてみる。
- 那珂川町のHPで調べてみる。

■ フィールドワーク

- 役場に問い合わせしてみる。
- 関係者に会って、話を聞いてみる。
- 那珂川町の人に話を聞いてみる。

■ 発表

- 修学旅行事前学習
- 2 学期後半 (インターンシップ報告会)
- 3 学期 地域連携活動発表会

3 学年

■ テーマ

- 決定した就職先について詳しく調べる
- 就職先と関連する企業について調べる

■ 調べ学習

- 就職先に問い合わせしてみる。
- HPで調べてみる。

■ フィールドワーク

- 実際に就職先に行って聞いてみる。

■ 発表

- 卒業発表会